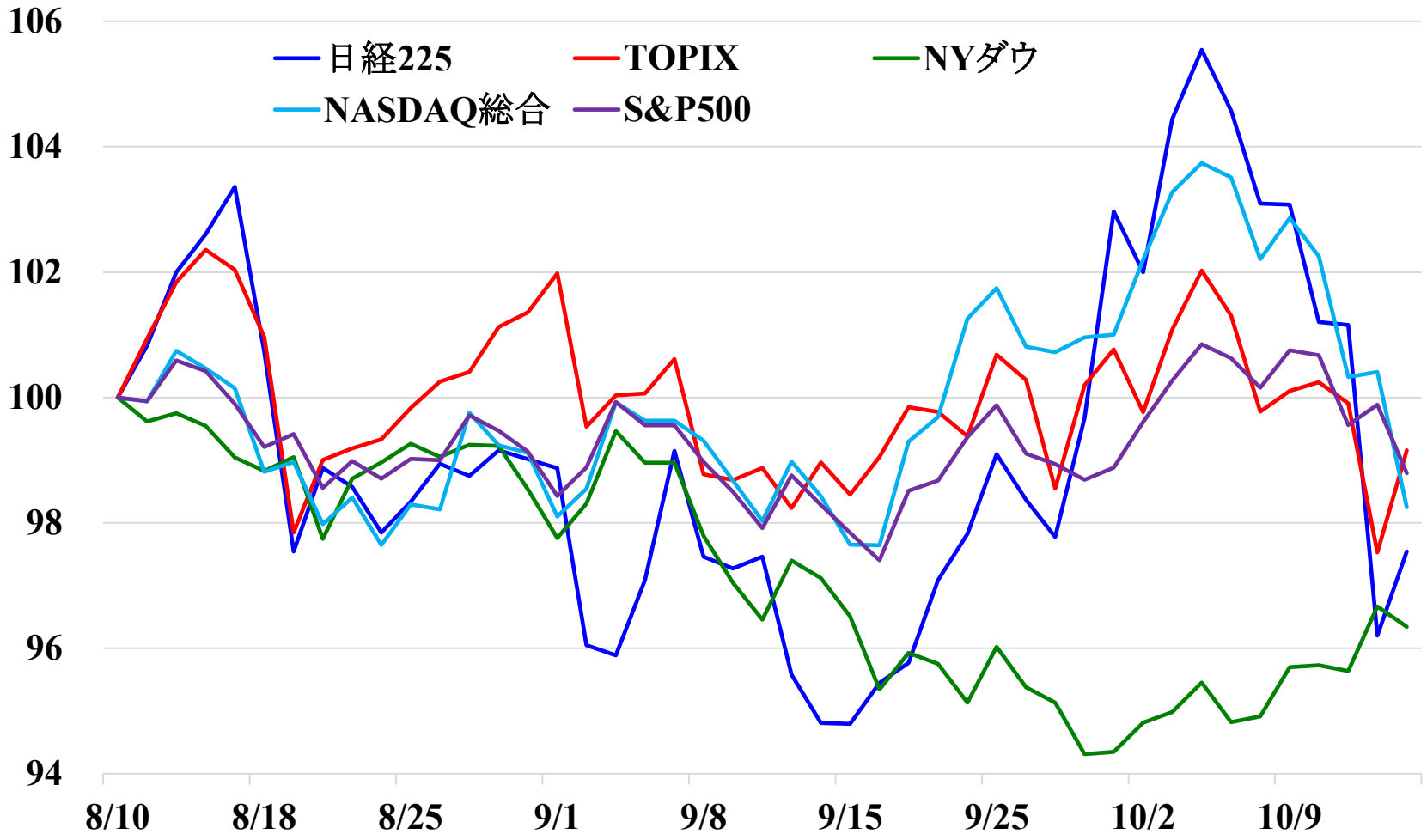
Simplex Institute

米国中間選挙への対処

2026年10月21日

直近の株式市場


2026年8月10日～10月16日株式市場推移（8月10日終値＝100）
106
104
102
100
98
96
94
日経225
TOPIX
NYダウ
NASDAQ総合
S&P500
8/10
8/18
8/25
9/1
9/8
9/15
9/25
10/2
10/9

選挙は相場波乱要因になることが多い

2016年の

(1) **Brexit**:英国の**EU**離脱是非の国民投票で僅差で「離脱」支持が多数
　事前の世論調査では英国は「残留」

(2) 米大統領選:共和党ドナルド・トランプ氏が民主党ヒラリー・クリントン氏を
　僅差で破る
　事前の世論調査ではヒラリー氏優勢

2024年の

(3) 自民党総裁選挙:決戦投票で石破茂氏が高市早苗氏に逆転勝利

これらをふまえ, **2024**年**10**月**16**日の本講座では以下の選挙の対処を考えた

(4) 第**50**回衆議院議員選挙:投票日**10**月**27**日(日)

(5) **2024**年米大統領選:共和党ドナルド・トランプ氏 **vs** 民主党カマラ・ハリス氏
　投票・開票日は米国 **11**月**5**日(火), **10**月**13**日時点では支持率に大差なし

2024年自民党総裁選の日経miniの動き



このときの戦略：ストラドルの買い

状況：まもなく選挙がある

読み：結果はどちらに転ぶかわからないが，大きな変動があるかもしれない

希望：大きく動いた場合に利益を得たい

戦略：開票前にコールとプット（同権利行使価格：ATM）を1枚ずつ買う

日時	10月限ミニ	限月	行使価格	売買	プット	コール	売買代金
2024/9/27 12:15	38,890	10月1週限	39,000	買	645	560	120,500
2024/9/27 16:40	37,815	10月1週限	39,000	売	1,345	155	150,000
				損益	700	-405	29,500

日時	10月限ミニ	限月	行使価格	売買	プット	コール	売買代金
2024/9/27 15:00	39,765	10月1週限	39,500	買	505	720	122,500
2024/9/27 16:40	37,815	10月1週限	39,500	売	1,645	62	170,700
				損益	1,140	-658	48,200

結果：片張りに比べれば収益は大きくないが，短時間・安定性で悪くない

「柳の下の泥鰌」を狙い選挙でストラドル

選挙結果は？

(4) 第50回衆議院議員選挙：投票日10月27日（日）

結果：予想通りの与党敗北 → 特に波乱なし

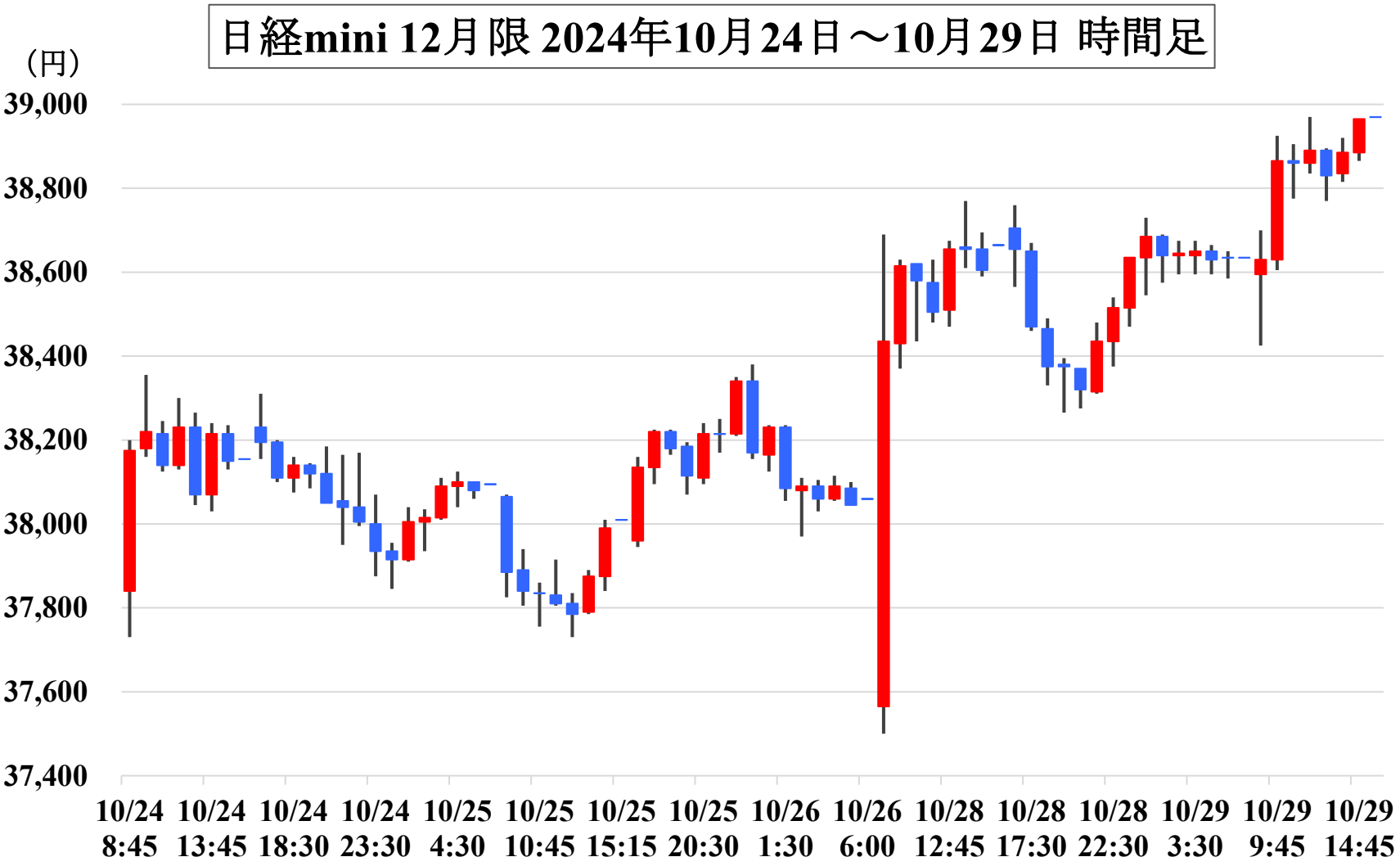
(5) 米国大統領選：投票日11月5日（火）

結果：共和党トランプ氏の圧勝，議会選挙も両院ともに共和党の勝利

→ 大きな波乱なし

どちらも「波乱なし」というわけで，「ストラドルの買い」はダメだったか，というと実はそうでもない

第50回衆議院議員選挙前後の日経mini



この状況でストラドルの買いは機能したか？

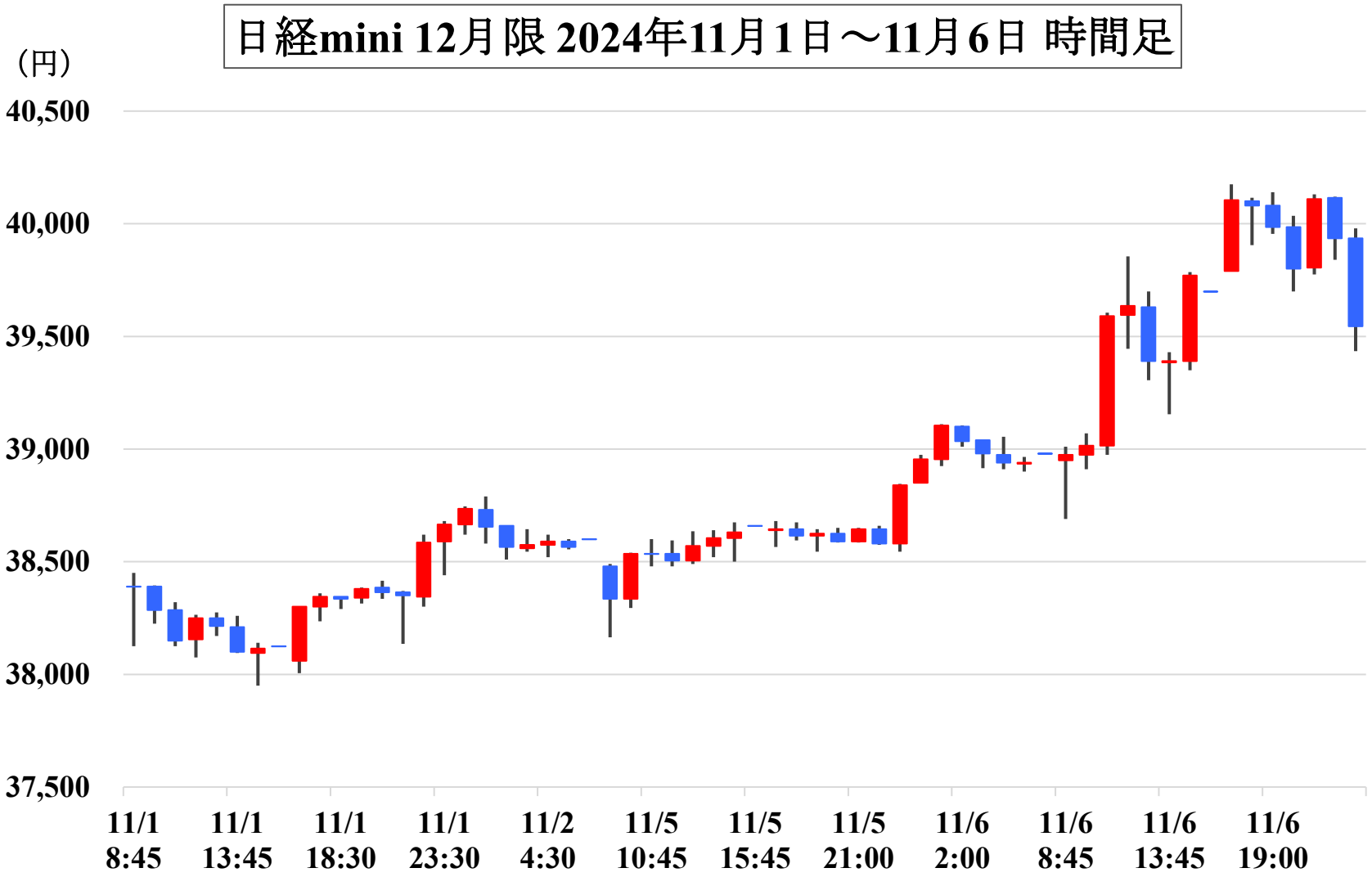
戦略：投票前にコールとプット（同権利行使価格：ATM）を1枚ずつ買う
　　タイミングを見計らって利食い

日時	12月限ミニ	限月	行使価格	売買	プット		コール		代金
10/25 17:04	38,140	11月1週	38,000	買	670	36.1%	775	34.1%	144,500
10/28 8:47	37,550	11月1週	38,000	売	700	28.0%	---	---	70,000
10/29 16:48	39,100	11月1週	38,000	売	---	---	1,200	34.0%	120,000
				損益	30		425		45,500

収益率 = +31.5%
結果として機能したと言えるが，かなりのガマンが必要

注）「IVの低下とTDからの損失を相場観（デルタ）で補うトレードになった
　勉強になりました！」と自分でコメントしている

米国大統領選挙前後の日経mini



ここでもストラドルの買いは機能したか？

戦略：投票前にコールとプット（同権利行使価格：ATM）を1枚ずつ買う
　　タイミングを見計らって利食い

日時	12月限ミニ	限月	行使価格	売買	プット		コール		代金
11/5 15:45	38,660	11月2週	38,500	買	625	53.0%	705	46.7%	133,000
11/6 8:45	38,950	11月2週	38,500	売	440	55.9%		---	44,000
11/6 17:00	39,790	11月2週	38,500	売	---	---	1,430	53.4%	143,000
				損益	-185		725		54,000

収益率 = +40.6%

プットを買う必要があったかどうかは疑問だが，「勝ちは勝ち」

しかもここではIVでも勝っている！

「ストラドルの買い」のコツ

(1)「大きな変動」に賭ける戦略であり，方向観に賭けるものではない
　→ 方向観に自信があるのなら先物売買で十分（スリルは満点 !!）

(2) 限月は近いものを選ぶ
　→「安いほうがいい」に決まっている

(3) コールとプットを買うタイミングは直前でよい
　→ 両方買うのだから相場観など不要

(4) コールとプットの売るタイミングは大きく動いた直後
　→ 結果が出ても大きく動かなかったら「負け」，とっとと撤退

注）結果前にもかかわらず相場が既に大きく動いていたら，逆張りもあり
　→ 相場とはそういうもの（臨機応変）

「ストラドルの買い」の注意点

(1)「ストラドルの買い = ATMコールの買い + ATMプットの買い」
→ TDを最も多く失う ATMオプションを 2つも買っていることを意識せよ

(2)コールとプットの「買い」は同時が基本だが, 利食いはその限りではない
→ コールあるいはプットの一方の利食いだけで十分な利益が出せたら
もう一方の決済(転売)は利の乗るタイミングを SQまで待つことも可能
しかし, これが実現できるには理想的な相場の動きと読みが必要

(3)コールでもプットでも利食いが可能なときは, ITMになっていることが多い
→ 買い手が市場にいるのか? まともな価格で売れるのか?

注)こうして考えてみると, 高い価格の ATMコールと ATMプットを同時に
買うのはコストがかかるので, 利益を出すのはなかなか楽ではない

SBI証券

要エントリー

先物・オプション

対象のお取引で500名様に

総額100万円!

2,000円が当たる!

キャンペーン期間：2026/10/1(木) ～ 2026/11/30(月)

キャンペーンの流れ

Step 1



キャンペーンにエントリー

Step 2



期間中、対象銘柄（日経225マイクロ先物、日経225ミニオプション、ミニTOPIX先物）を合計10枚以上取引

※新規・決済を問いません

Step 3



抽選で500名様に現金2,000円をプレゼント

本キャンペーンにご参加いただくには、エントリーが必要です

参加者アンケート

※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

講師プロフィール

伊藤祐輔（いとうゆうすけ）
株式会社シンプレクス・インスティテュート　代表取締役
1976年早稲田大学理工学部数学科卒業，1983年同大学大学院理工学研究科後期課程修了．偏微分方程式論の研究活動のかたわら数学教育を続け，1989年ソロモン・ブラザーズ・アジア証券（現シティグループ証券）に入社．株式部長，株式デリバティブトレーダーとしてマーケットにかかわる．1999年インドスエズ・ダブリュ・アイ・カー証券（現クレディ・アグリコル証券）に移りトレーディングデスクの再構築を行い，2000年（株）シンプレクス・インスティテュート代表取締役就任．

免責事項
当資料の内容は，投資判断の参考として投資一般に関する情報提供を目的としたものであり，投資の勧誘を目的としたものではありません．
投資に関する最終的な決定は，ご自身の判断と責任においてなさるようにお願い致します．
株式会社シンプレクス・インスティテュートでは，当該情報に基づいて被ったいかなる損害についても，一切の責任を負うものではありません．

無断転載を禁ず
当資料の全部，または一部を無断で複写・複製・転載，および磁気・光記録媒体に入力することなどは，著作権法上の例外を除き禁じられています．

株式会社シンプレクス・インスティテュート
〒105−6223　東京都港区愛宕 2−5−1
愛宕グリーンヒルズMORIタワー23階
URL：http://www.simplexinst.com

ご注意事項

•本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いします。万一、本資料に基づいてお客さまが損害を被ったとしても当社、および情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製、または販売等を行うことは固く禁じます。

•必要証拠金額は当社証拠金（発注済の注文等を加味した証拠金×**100%**）－ネット・オプション価値（**Net Option Value**）の総額となります。

•当社証拠金、およびネット・オプション価値（**Net Option Value**）の総額は発注・約定ごとに再計算されます。

•証拠金に対する掛け目は、指数・有価証券価格の変動状況などを考慮のうえ、与信管理の観点から、当社の独自の判断により一律、またはお客さまごとに変更することがあります。

•「**HYPER**先物コース」選択時の取引における建玉保有期限は原則新規建てしたセッションに限定されます。なお、各種設定においてセッション跨ぎ設定を「あり」とした場合には、プレクロージング開始時点の証拠金維持率（お客さま毎の証拠金掛目およびロスカット率設定に関わらず必要証拠金額は証拠金×**100%**で計算）が**100%**を上回っていれば、翌セッションに建玉を持ち越せます。「**HYPER**先物コース」選択時は必要証拠金額は証拠金×**50%**～**90%**の範囲で任意に設定が可能であり、また、自動的に決済を行う「ロスカット」機能が働く取引となります。

•先物・オプションの証拠金については日本証券クリアリング機構の**WEB**サイトをご覧ください。

•指数先物の価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。市場価格が予想とは反対の方向に変化したときには、比較的短期間のうちに証拠金の大部分、またはそのすべてを失うこともあります。その損失は証拠金の額だけに限定されません。また、指数先物取引は、少額の証拠金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失を被る危険性を有しています。

•日経平均**VI**先物取引は、一般的な先物取引のリスクに加え、以下のような日経平均VIの変動の特性上、日経平均**VI**先物取引の売方には特有のリスクが存在し、その損失は株価指数先物取引と比較して非常に大きくなる可能性があります。資産・経験が十分でないお客さまが日経平均VI先物取引を行う際には、売建てを避けてください。

ご注意事項

- 日経平均VIは、相場の下落時に急上昇するという特徴があります。
- 日経平均VIは、急上昇した後に数値が一定のレンジ（20～30程度）に回帰するという特徴を持っています。
日経平均VIは、短期間で急激に数値が変動するため、リアルタイムで価格情報を入手できない環境での取引は推奨されません。
- 指数オプションの価格は、対象とする指数の変動等により上下しますので、これにより損失を被ることがあります。なお、オプションを行使できる期間には制限がありますので留意が必要です。買方が期日までに権利行使又は転売を行わない場合には、権利は消滅します。この場合、買方は投資資金の全額を失うことになります。売方は、市場価格が予想とは反対の方向に変化したときの損失が限定されていません。また、指数オプション取引は、市場価格が現実の指数に応じて変動しますので、その変動率は現実の指数に比べて大きくなる傾向があり、場合によっては大きな損失を被る危険性を有しています。
- 未成年口座のお客さまは先物・オプション取引口座の開設は受付いたしておりません。
- 「J-NETクロス取引」で取引所 立会市場の最良気配と同値でマッチングする場合、本サービスをご利用いただくお客さまには金銭的利益は生じないものの、SBI証券は委託手数料を機関投資家から受け取ります。
- J-NETクロス取引の詳細は適宜修正される可能性がありますのでご留意ください。

金融商品取引法等に係る表示

本セミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行うことがあります。これらの商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります（信用取引、先物・オプション取引、商品先物取引、外国為替保証金取引、取引所**CFD**（くりっく株**365**）、店頭**CFD**取引（**SBI CFD**）では差し入れた保証金・証拠金（元本）を上回る損失が生じるおそれがあります）。商品毎に手数料等及びリスクは異なりますので、詳細につきましては、**SBI** 証券**WEB** サイトの当該商品等のページ、金融商品取引法等に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。

金融商品取引法等に係る表示
https://search.sbisec.co.jp/v2/popwin/info/home/pop6040_torihikihou.html

商号等：株式会社**SBI**証券　（金融商品取引業者、商品先物取引業者）

登録番号：関東財務局長（金商）第**44**号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人 日本**STO**協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人日本暗号資産等取引業協会